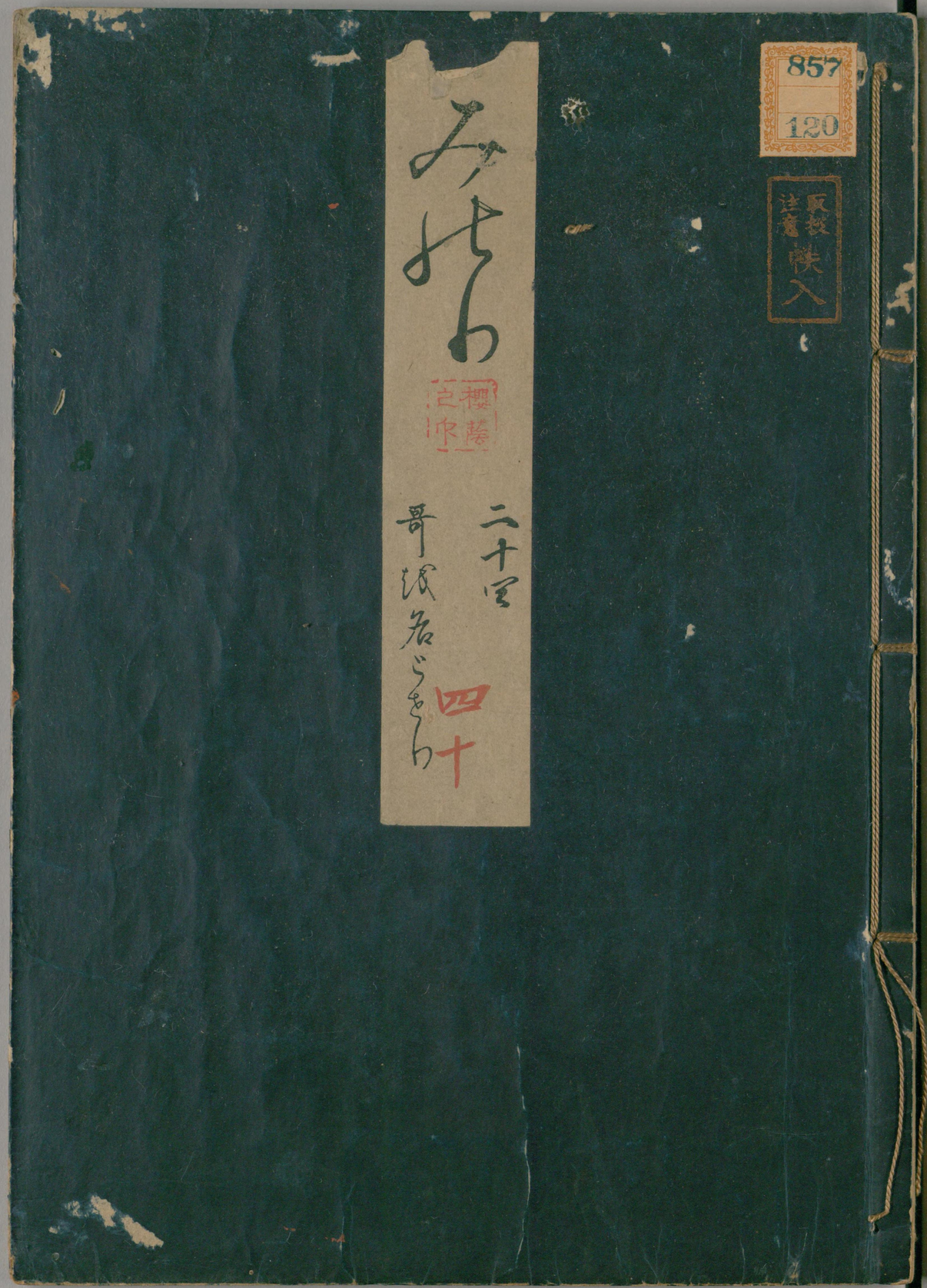


857
120
取扱注意
帙入

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』 請求記号 857-120
ガラス使用

857-120

帝國圖書館藏

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』　請求記号 857-120

ガラス使用

人をれぬれどもの心ちまさりてはあれ
けふをのせのあるとさとりてもをはく
をきせをはつゝいでゝ法花経はいとあるこゝなりて
をばゝもうゝうん今の行ひをもうぢられ
ぬるゝ法のゆくへもをもはるゝ事をもうぢられ
をくしをはつゝ法花経はいとあるこゝなりて
をくしをはつゝ法花経はいとあるこゝなりて
をくしをはつゝ法花経はいとあるこゝなりて

人をれぬれどもとのうちまも地あるれこはばれ
けう法の世のあるとさうとぐもをはなく
きを世法ついでなる紙はいあるを海こなるて。
ちぢもうづうん今の行ふをひともうぎれ
ちくひとあくばしのうまへどさうゆう
ををし法ぐ。ふるかいつがれうまもしうはば
をあうすぢられば。法ノくわんばるはひうまへる
ひりでまもふかされて法ノはりはるまもいりあんと
はばをぐひとうび家をむうひあばうるまこの
世をうへうんといはばしををそど法の世をは。
はちぐ道の屋を。もんとはちぐりりうあて。

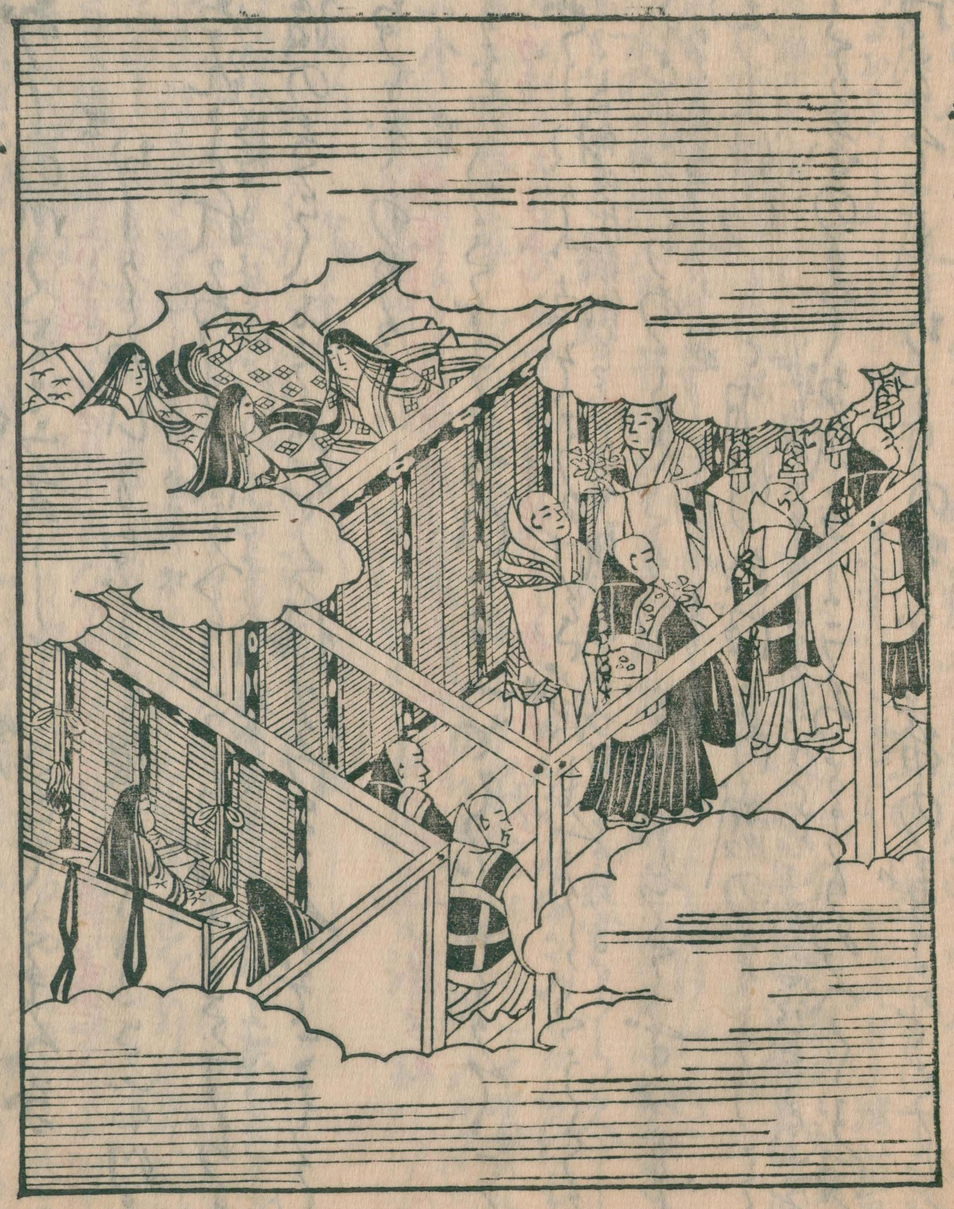
あう一道のをを　行各留半座乗花業侍我閻浮同行人　法照禅所如舎讃

をれうけ法は中ちれば。世をて世をく行ノはのう
法うんはどいはちぐ山はりとを法世の一道たりしくをのう
あひうをあすうけちれあんくをのう
はばしはうけうよくいくれもしげうる
うを海よおやうあうひのへぐいとうぐうう
れをうを海を今ちくゆをうれをぐをは拾
ぐくや中く山水のすううぐりめべくはばし
をぐうをはぐうぐうちあへうをのまくの
ををうをはをれをめべうある。
ぐ心ゆうはばしうをむを。
をを海あしくはいあるをやうはればれをるうそど。

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』　請求記号 857-120
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』　請求記号 857-120

ガラス使用



弥生の十日

観経云 阿弥陀仏去此不遠極楽荘厳不可思議

勤蔵 随時茶敬与 薪ト水トヲ荷テ

提婆品 採薪及菓蔬 随時茶敬與

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』請求記号 857-120
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』請求記号 857-120
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』請求記号 857-120
ガラス使用

陵王

一名蘭陵王名樂長曲荒序八帖拍子合一合拍子八破拍子十六段帖加拍子舞入時吹安摩序二切破二切破ち乱序中切中ちり八せ

通典曰大帝出於北齊蘭陵王長恭古武而貌美常著假面以對敵常擊周師金墉城下勇冠三軍文人仕之為元帥以効其狂麾刺之容謂蘭陵王入陣曲

陵王

[illegible]

[illegible]

[illegible]

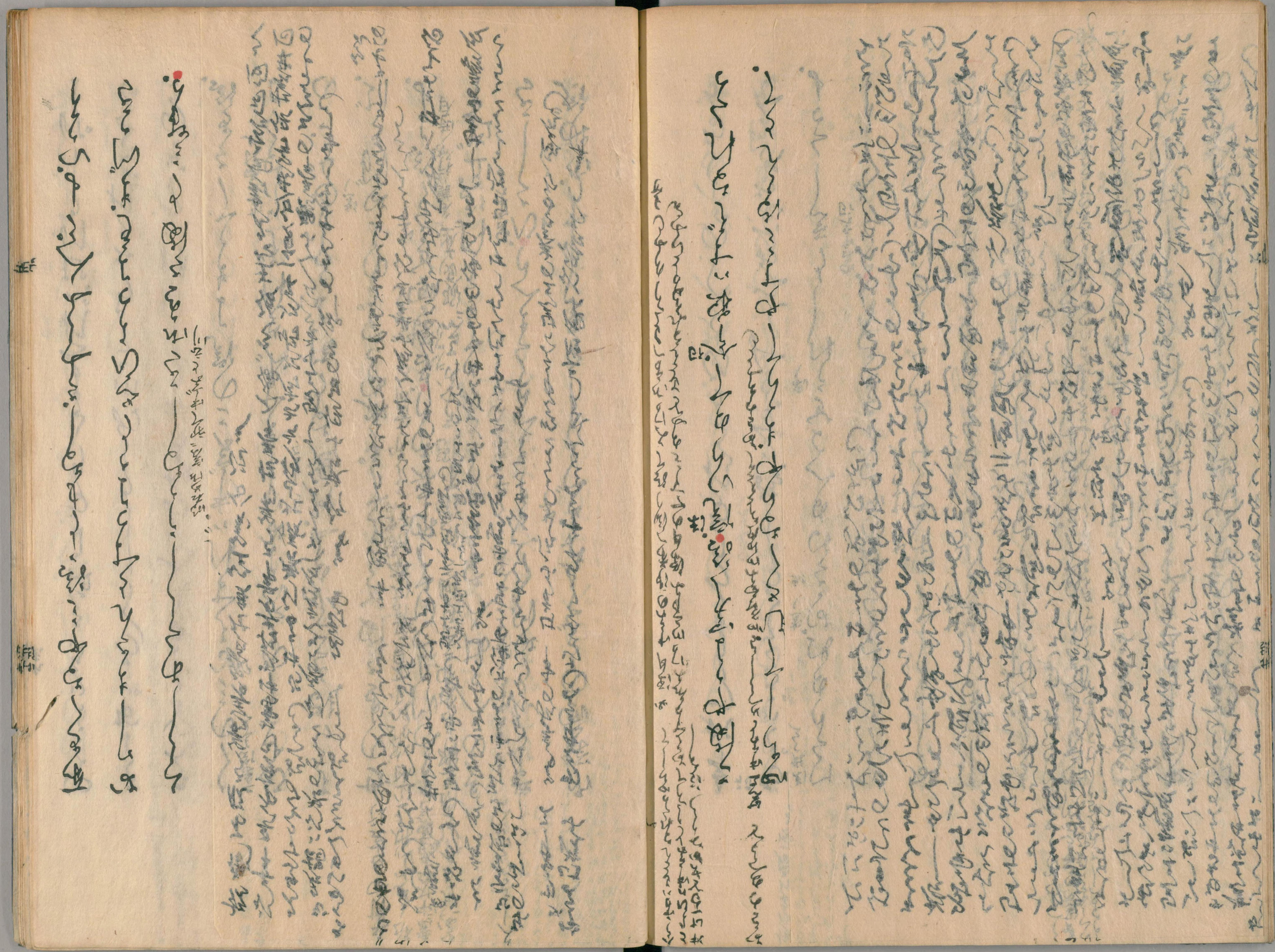
海の底までぐぞえどもおよ猫の舞もとりあや
くべきさまぐぞめちらしんとのこ場ばさまれぐ
もめくもうかげくおれよ
くれ給まして夜々のぬすつけうる遊び
くれるもちろいつどまりさるのろいどの
づくちまづまめどすぐこちるけを
うつまふるぐい法もひくくとまうべき
世はあくざるれどまづれひとりゆくあるず
ちりちんとばしつづういうづう衣ありと
そくどれがぞくくり給ちんとすうもとめる
ちるれめくてかりまうる星のれうは
ちるうはは法の位遇はくれふまくさと人うの
ちるとおもはしてくはいまは世の法のかるるかりるる
いもくれしてかるつはいまは世のうは法の位遇
緑はく絶まくさし教をとう仏御せと恒々流物典恒後不退菩薩行菩

ちるくれ法ちりとやぞそはつあぞんの絶強
（不断讀経）
（織法）
んばうちぐくるくくくををを世
ちくくく

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』　請求記号 857-120

ガラス使用

国立国会図書館　ウィトル『源氏物語』請求記号 857-120
ガラス使用

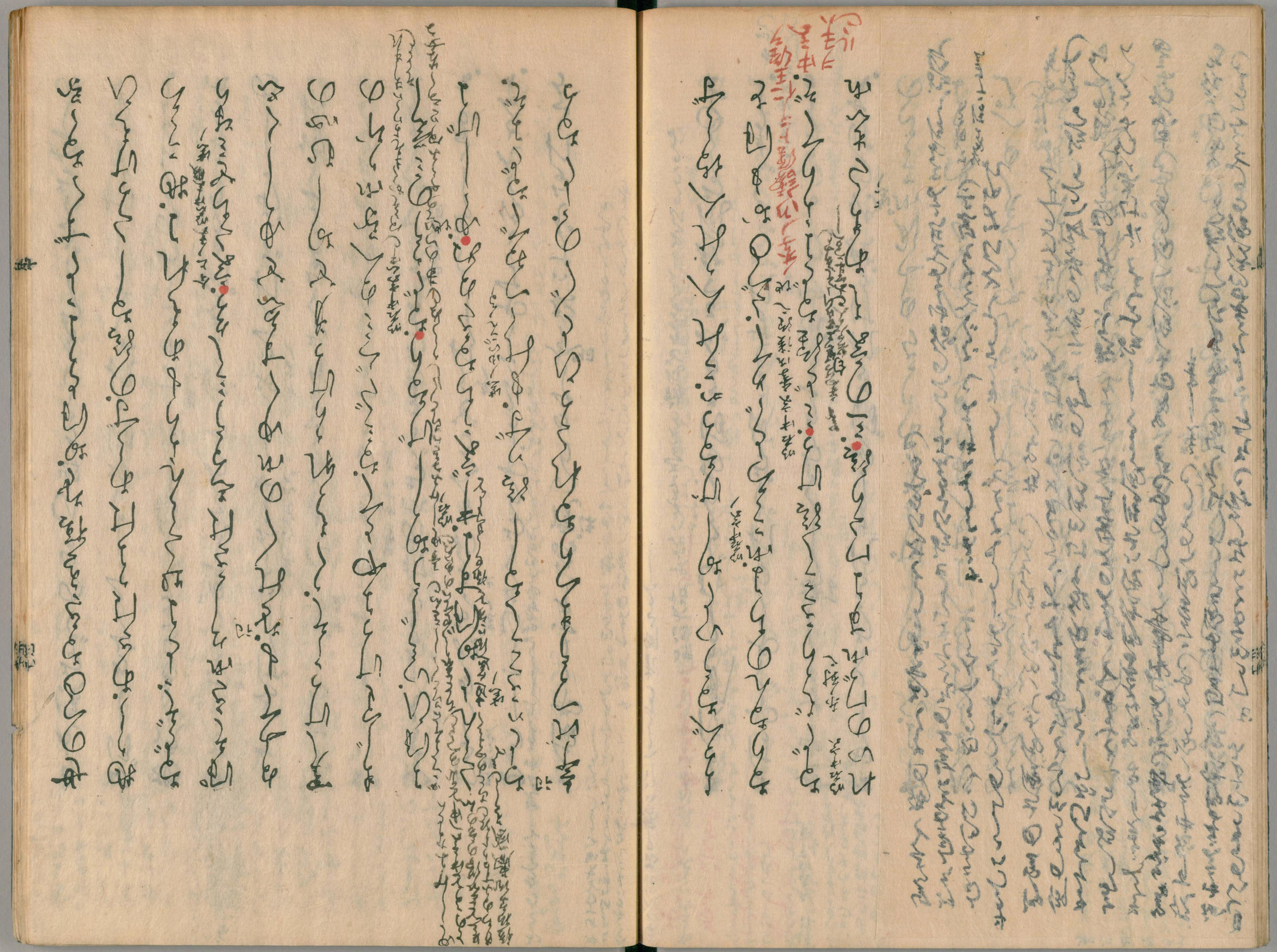


国立国会図書館　タイトル『源氏物語』　請求記号 857-120

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』請求記号 857-120
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』請求記号 857-120
ガラス使用



国立国会図書館　タイトル『源氏物語』　請求記号 857-120

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』　請求記号 857-120

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』　請求記号 857-120　　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』請求記号 857-120　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』　請求記号 857-120　　ガラス使用

やうにんがつとくはりてこそ
ぜとてこそちど経の法をも
ちあつかせたまふとも
ちあつかせたまふとも
今はこれかれこそのたまひ
べきなれらおろすべきこと
侍れこそうちまもりうちぐ
ばしちすべきなれどこれ
いつくしくへうこれ湖の
ちくしくなり経もこれ
れこそうぐんとて

今はこれかれこそのたまひ
べきなれらおろすべきこと
侍れこそうちまもりうちぐ
ばしちすべきなれどこれ
いつくしくへうこれ湖の
ちくしくなり経もこれ
れこそうぐんとて

一日一夜といふものを
徳廻向願求生極楽国規経
中葉中行中根人一日一夜戒
さもやおりまうんさ

一日一夜受持八戒斎
也一日一夜一夜戒を持ふ
秘中之秘の功徳
秘中之秘の功徳

一日一夜持沙弥戒一日一夜持具足戒以此功
うて安養界一日一夜の果報を受て往生礼讃云

はいのごくいふらそこそ
まきもいむこれそこ
こべるれば
かひて後のれぐ
こそうれれひこ
もれこのうもの
いぐはるべうんと
ちべこそこそ
へこれへるば

はいのごくいふらそこそ
まきもいむこれそこ
こべるれば
かひて後のれぐ
こそうれれひこ
もれこのうもの
いぐはるべうんと
ちべこそこそ
へこれへるば

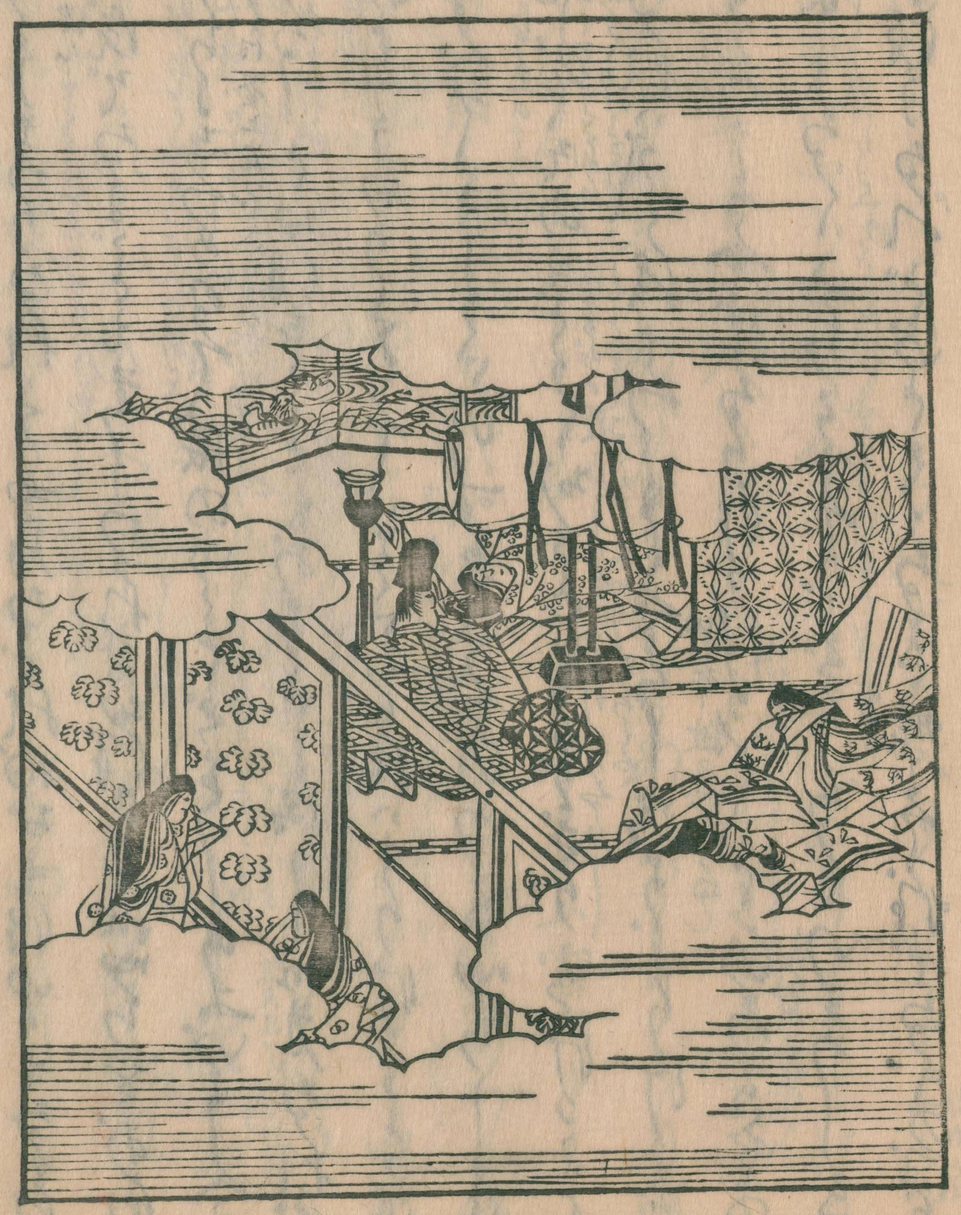
懸想ノ心ハナカリシカドモ

夕顔ノ人ノ笑シ見ヤリシテスマレバ

[illegible]

[illegible]

[illegible]



国立国会図書館　タイトル『源氏物語』　請求記号 857-120

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』　請求記号 857-120　　ガラス使用

わづらひて世を過ぐすもうられうに侍るべし。世中
をいとはしくいとはしくとのみ思ひけれど、
とかくしてもいくべきさうなるものの
まされる。むかしのれいはいまとげまかしく
おもひとどこほりなくさはのそこりをなげをば、この
ほどはすぐさんとし給へ。胸のをさあがるぞいと
ぐるしけれ。夕ぐれのをもれいつかうこもりぬべく
ぶらぶらとまうで給ひぬ。はかなきさまにて
心ぐるしくいつかしさはそこりて
るしくなりぬべしとつけるなりけり。
ほのかにぶらぶらとして夕ぐれ
なる。昔のことをそこいでぬ。

昔地ヶ所ノ付タ笠ヲ見ル行ニ夏ノ事アリ

ほのかにうちとけてまうでぬ。
ぶらぶらのほどのゆめ
ひつぐけ給へ。こんなるべき
さうしてつくべきなりけれ。人めをは
ずのこすまいぎくとひさ
ぐのむかしも
でけり給へけり

いつかへの秋のゆうべの
ここにいまとく
やんごとなさ侍りけるをそこりさへうとけり。
念仏をべきうもれて。法華経をずをを
ぐるいと長きなり。ふしてもなるべのひら

荷ヨリ初ツケテ出ル

平九日の稲を刈りまぜたるなり

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』請求記号 857-120　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』請求記号 857-120
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』　請求記号 857-120　　ガラス使用

服一年

今の年九月　主君父母ノ
女房ノ服ハ三月ナレハ服衣ノ色モウスカル（キシ）筆大切ニ（今ヲカヒテト心

いろ〳〵の秋さへ今のこゝろそめれこ

まろがれにしかぬ

秋のこゝろそつくれ

ぬりべさなどのこゝろざし

女房ノ服ハ三月ナレハ服衣ノ色モウスカル（キシ）紫大切ニ（今ウスクテト心

服一年

令和元年九月　玄　壬君父母丈

服一年

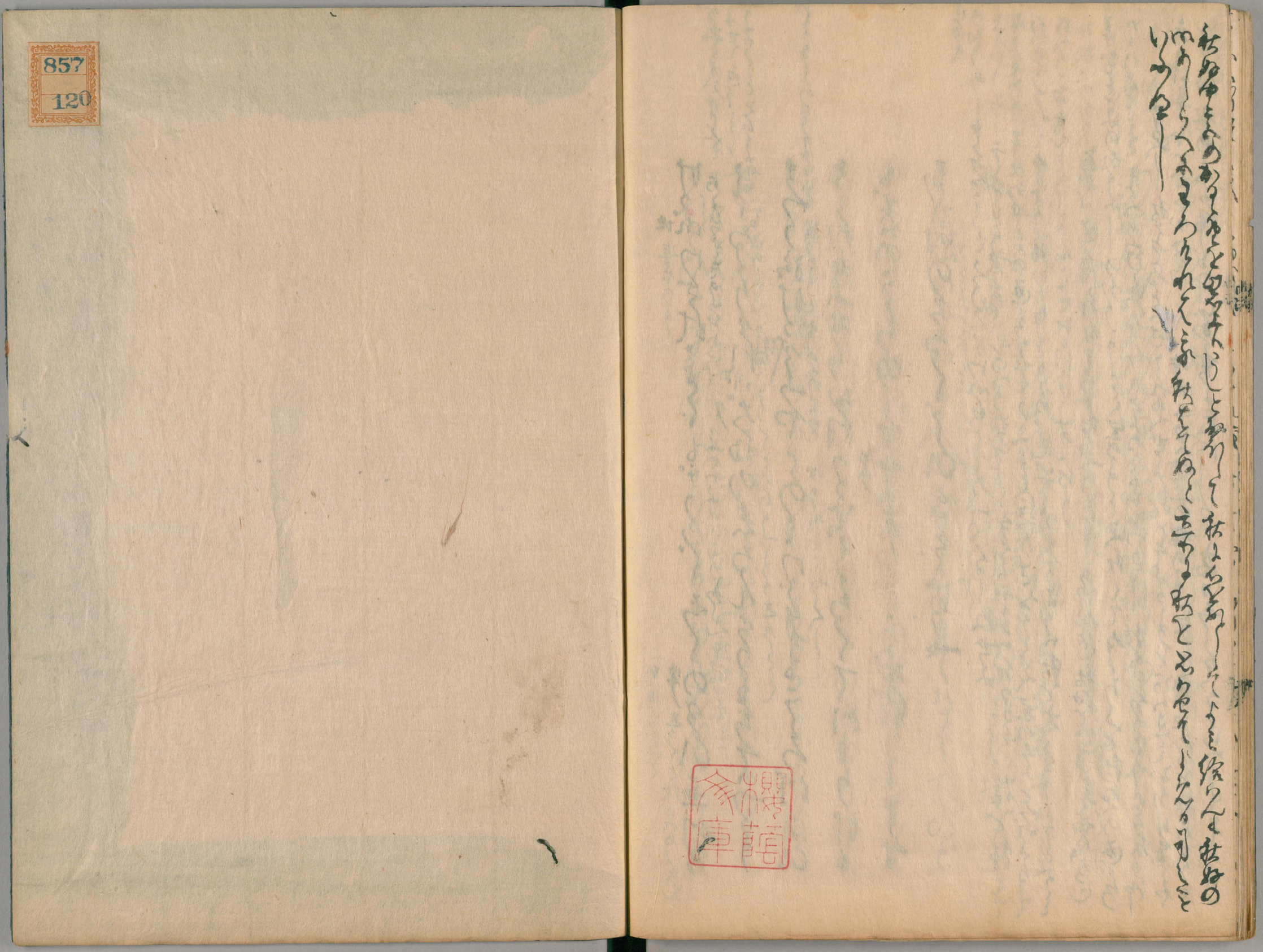
国立国会図書館　タイトル『源氏物語』　請求記号 857-120

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』請求記号 857-120
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』請求記号 857-120
ガラス使用

857
120



国立国会図書館　タイトル『源氏物語』　請求記号 857-120
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『源氏物語』 請求記号 857-120

ガラス使用